

水循環の目指す姿（案）

「健全な水循環」とは、人の活動と環境保全に果たす水の機能が適切に保たれた状態をいいます。

【検討に際してのキーワード】

資料2

水に関する安全・安心

自然とのバランスを保ちつつ
水の恵みを受

人と水とのつながり



貯留涵養機能

水源涵養機能をはじめとする森林や農地の多面的機能が持続的に発揮されている。

水に関する防災・減災

防災・減災と迅速な復旧・復興への対応により、人命・財産が守られ、被害を最小限に抑えることができる。

水インフラの維持管理

地域において水インフラの適切な維持管理・更新、耐震化がなされている。

良質な水の確保

安全で良質な水を常に供給できている。



流域における連携

流域における健全な水循環の姿に向け、様々な関係者が協力し、自発的な活動が展開されている。

水環境と生態系

流域特性に応じた水量・水質が保たれ、持続可能な水利用ができ、水環境と生態系が守られている。

水への意識と行動

国民一人一人が水の重要性を理解し、何をすべきかを考えて行動することができる。

科学技術の振興

水循環に関する調査・研究、技術開発が計画的に実施され、その成果が有効的に利用されている。



国際連携と協力

我が国の優れた制度や技術が海外でも活用され、世界の水問題の解決に貢献できている。



地下水の保全と利用

地域において地下水の質と量が確保され、持続可能な地下水利用ができている。



地下水

水辺空間と水文化

人が水とふれあうことができる親水性や景観に配慮された水辺空間が確保され、様々な水文化が引き継がれている。